



スポーツの秋・食欲の秋・そして読書の秋……

秋と言えば、私は“スポーツの秋”“食欲の秋”“読書の秋”“実りの秋”を連想しますが、皆さんは何を連想しますか？ “実りの秋”は確かに栗、柿、リンゴなど秋に実る果物が一杯あります。それに美味しい新米などありますから実感しますよね。でもスポーツ、食欲、読書はなぜ秋なのでしょう？今は四季を通じてスポーツは盛んですよね。最近ではむしろ夏が盛んな様に思いますね。スポーツの最高の祭典はオリンピックだと思いますが、東京オリンピックも真夏のようにですね。食欲も今では年中美味しいものがありますから、秋よりもむしろ冬にコタツにあたりながら食べるのもいいですね。それに読書です。なぜでしょう？秋の夜長、虫の声自然の環境のせいでしょうか？それとももっともっと深いわけがあるのでしょうか？誰か答えを知りませんか？

それでも今は秋真っ盛り、秋の夜長を本とともに！読書は皆さんが言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことができないものです。皆さんの豊かな育ちのために、「すぐれた本との出会い」を期待します！



外部模擬テストのお知らせ

今月は全学年とも外部模試です。あらかじめ渡してあるテスト範囲をしっかりと勉強しておいて下さい。1点でも、1問でもたくさんとれるように努力して下さい。時間等詳しくは後日でお知らせします。

2013年11月 予定表

1	金		17	日	
2	土		18	月	
3	日		19	火	
4	月	文化の日	20	水	
5	火		21	木	
6	水		22	金	
7	木		23	土	勤労感謝の日
8	金		24	日	
9	土		25	月	期末テスト対策
10	日		26	火	
11	月		27	水	
12	火		28	木	期末テスト対策
13	水		29	金	
14	木	外部模擬テスト 中1年	30	土	期末テスト対策
15	金	外部模擬テスト 中2年			
16	土	外部模擬テスト 中3年			

苦手な科目は誰にでもあるものです。しかし、“苦手だから”あるいは“わからないから”、苦手な部分の問題を集中的にやればいいというのはあまりにも短絡的です。それよりもまず、「どうして苦手なのか」、「何がわからないのか」という原因を見つけて、それに対してどうしたらよいかを考えましょう。

苦手科目の克服には

苦手とか、わからないという意識はテストの結果などが引き金になって植えつけられることが多いものです。もともと出来ない問題やまちがって理解している知識を明確にするのも学習経過の中でのテストの効能です。ですから、テストの得点のみを指標にしてしまうと、出来なかった科目や問題への苦手意識だけが残ってしまう結果になります。ここはテストをもっと上手に利用しましょう。それにはまず、答案がもどってきたら、もちろん点数がいちばん気になるところですが、とにかくまちがいを直して満点にする作業を習慣付けましょう。たとえテストのときにできなくても、教科書なり参考書なりを見て直して、間違えた問題を解けるようにすることが苦手科目を克服する第一歩なのです。その後で比較的やさしい類似問題を何題かやって解けるようになったことを自分で確認できればさらによいでしょう。

次の段階は、苦手を得意に変えることです。ほとんどの子どもがテストでよい点がとれれば、親からもほめられ、だんだんその科目が好きになっていくものなのです。ですから、やはりテストでの得点を徐々にでも上げてゆくことが重要です。その際、テスト前には「この間のテストも見直したら満点がとれたじゃない。あなたもやればできるよ。今度のテストはこの間の見直しの分をテストの前にやればいいのよ」とアドバイスしてあげましょう。プレッシャーを与えるのではなく、励ましを含めたアドバイスをすることで、テスト勉強への集中力も自然とアップすることでしょう。そして、よくできたときは必ずほめてあげ、またたとえ不本意な結果であっても、「勉強のしかたはよかったんだから、この調子で次はがんばろうね」と励ましてあげることが大切です。多少時間はかかるかもしれませんが、このくり返しで苦手を得意に変えることができるはずですよ。まずは、欲張らずに科目を絞ってやってみてください。

得意科目が一つでもあれば、それが柱になって他の科目にも好影響を与えることになります。特に中学生になると得意科目があるのとないのとではたいへんな違いが出てきます。中学生の定期テストは、内伸点という形で入試に関係してくる側面がありますから、必然的に得点を上げることを目的とせざるを得なくなります。その際に得意科目があれば、それから学習に入っていくことができます。「テスト勉強は苦手なものから」と思われている保護者の皆さんも多いと思いますが、苦手な科目(嫌いな科目)に手をつけることはけっこうたいへんなことなのです。だから手をつけやすい得意科目(好きな科目)から始めれば、それがウォーミングアップがわりになり、やがて苦手科目の勉強へもすんなり入っていくことになります。逆に言えば、得意科目が多ければ多いほど、テスト対策に余計なストレスを感じなくなるわけです。

また、受験生にとっても得意科目をもつことは大きな自信につながります。手さぐり状態の受験勉強の中で「この科目は大丈夫」というようなものがあれば、それが心のよりどころになることはまちがいありません。

まずは早い段階で一科目でも得意をつくること。これが学習をスムーズに進めていく上での基本です。



10月に図書券をゲットした人

おめでとうございます。これからも頑張ってください！